



The Global Language of Business

経済産業省 第1回商品情報連携会議 **GS1 Japan 産業横断レジストリー**

正確な商品情報の連携による流通の効率化と付加価値向上

GS1 Japan（一般財団法人 流通システム開発センター）

2025年5月30日

Table of Content

1. GS1 Japan 産業横断レジストリーについて
2. GS1 Japan 産業横断レジストリーver1.0スケジュール
3. GS1 Japan 産業横断レジストリー商品情報
4. GS1 Japan 産業横断レジストリー小売向けAPI連携概要
5. GS1 Japan 産業横断レジストリーver2.0に向けて

1. GS1 Japan 産業横断レジストリーについて

- A. GS1 Japan 産業横断レジストリーの背景
- B. GS1 Japan 産業横断レジストリーの目的
- C. GS1 Japan 産業横断レジストリーの特徴
- D. GS1 Japan 産業横断レジストリーの概要

1A. GS1 Japan 産業横断レジストリーの背景(1/2)

デジタル化、ネット化へのGS1の対応

- GS1は、これまでGS1事業者コードの管理に重点を置いてきた。しかし、今後さらに発展するデジタル社会における GS1の役割として、GS1事業者コードだけでなく、世界で一意に商品を識別するGTIN、場所や事業者を識別するGLNなどの各種識別コードの管理が重要であると考え、2019年に、それらの情報を蓄積するデータベース「GS1 Registry Platform (GRP)」の運用を開始した。
- GRPに蓄積された情報は、世界各国のGS1加盟組織のVerified by GS1 (VbG)を通じて、広く利用されている。



1A. GS1 Japan 産業横断レジストリーの背景(2/2)

取引のネット化の拡大とともに、GTINと正確な商品情報の重要性が高まる

- 国内においても、消費者が国や地域を越えて流通、販売されている商品をインターネットで購入することは当たり前になっており、同一商品が実店舗とオンライン店舗のように、マルチチャネルで売られるシーンも増えている。安心・安全や持続可能への意識の高まりの中、消費者に対して正確な情報をタイムリーに提供する必要が増している。
- 正確な商品情報とは、商品を最もよく知る当事者であるブランドオーナーが管理している商品情報を意味している。この正確な商品情報の収集と提供を持続的に実現するために、2022年にGS1 Japan、株式会社ジャパン・インフォレックス及び株式会社プラネットの三者は、サプライチェーン全体の商品情報授受の効率化に向けて取り組みを開始した。
- 既に三者の商品情報(商品の基本情報5項目)はGRPに連携されており、VbGを通じて、広く利用されている。
- 三者は更なる正確な商品情報利用推進のため、GS1 Japan産業横断レジストリーの構築に取り組んでいる。

1B. GS1 Japan 産業横断レジストリーの目的

「社会的なインフラ」、「公共性」、「全産業の繁栄」を構築・運営の目的として、サプライチェーン全体の商品情報授受の効率化のための取り組みを推進する

GS1 Japan(一般財団法人 流通システム開発センター)、株式会社ジャパン・インフォレックス(JII)および株式会社プラネットの三者は、GTINと商品情報のニーズに対処するため、業界横断的な商品情報のレジストリーとして、GS1 Japan産業横断レジストリーを構築する



株式会社ジャパン・インフォレックス(JII)

酒類・食品業界のメーカーと卸売り等の取引先の間にとって、240万件を超える商品マスターを業界標準に基づき一元管理して提供する業界最大のデータベースセンター。
7,000社超のメーカーが直接登録するデータと、大手食品卸が代行登録する共有データの2種類のデータで構成された豊富で実用性の高いデータベースを運営。



GS1 Japan

(一般財団法人 流通システム開発センター)

国際的な流通システム標準化機関「GS1」に加盟。商品や企業・事業所の識別コード、各種のバーコード、EDIなど、グローバルな視点に立った流通システムの標準化とデータベースサービスを推進。流通サプライチェーンおよび医療分野の効率化・高度化と安全・安心に貢献。
約45万事業者の450万件を超える商品情報が登録されているデータベースサービス「GS1 Japan Data Bank(GJDB)-商品情報-」を運営。



株式会社プラネット

日用品、化粧品、ペットフード・ペット用品のEDIサービスや商品情報DBを提供。日用品、化粧品、ペットフード・ペット用品のほか、OTC医薬品の「セルフメディケーション・データベース(JSM-DB)」とのデータ連携によって、流通業界を幅広くカバーする充実したデータベースを運営。
データベースには、750社超のメーカーの、18万件を超えるアイテムが登録されている。



1C. GS1 Japan 産業横断レジストリーの特徴



我が国最大級 ブランドオーナー起点の 業界横断的商品情報提供システム

ブランドオーナーが管理している商品情報の提供を、
GS1 Japan、ジャパン・インフォレックス、プラネットの
三者が共同で取り組むことで
酒類・食品、日用品、化粧品、ペットフード・ペット用品、
OTC医薬品を幅広くカバー。

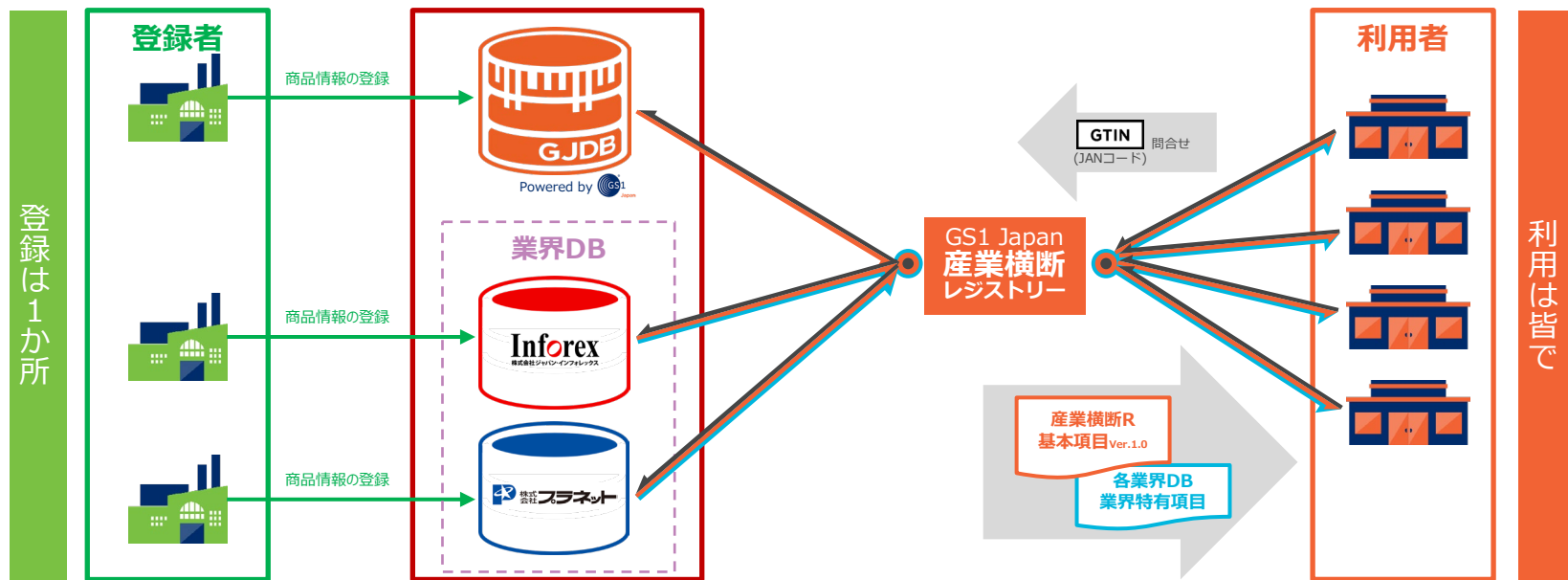


我が国流通業界における 正確な商品情報提供と 商品情報授受の効率化を実現

商品を販売している（世に問うている）事業者として商品
を最もよく知る当事者であるブランドオーナーが管理している
商品情報。

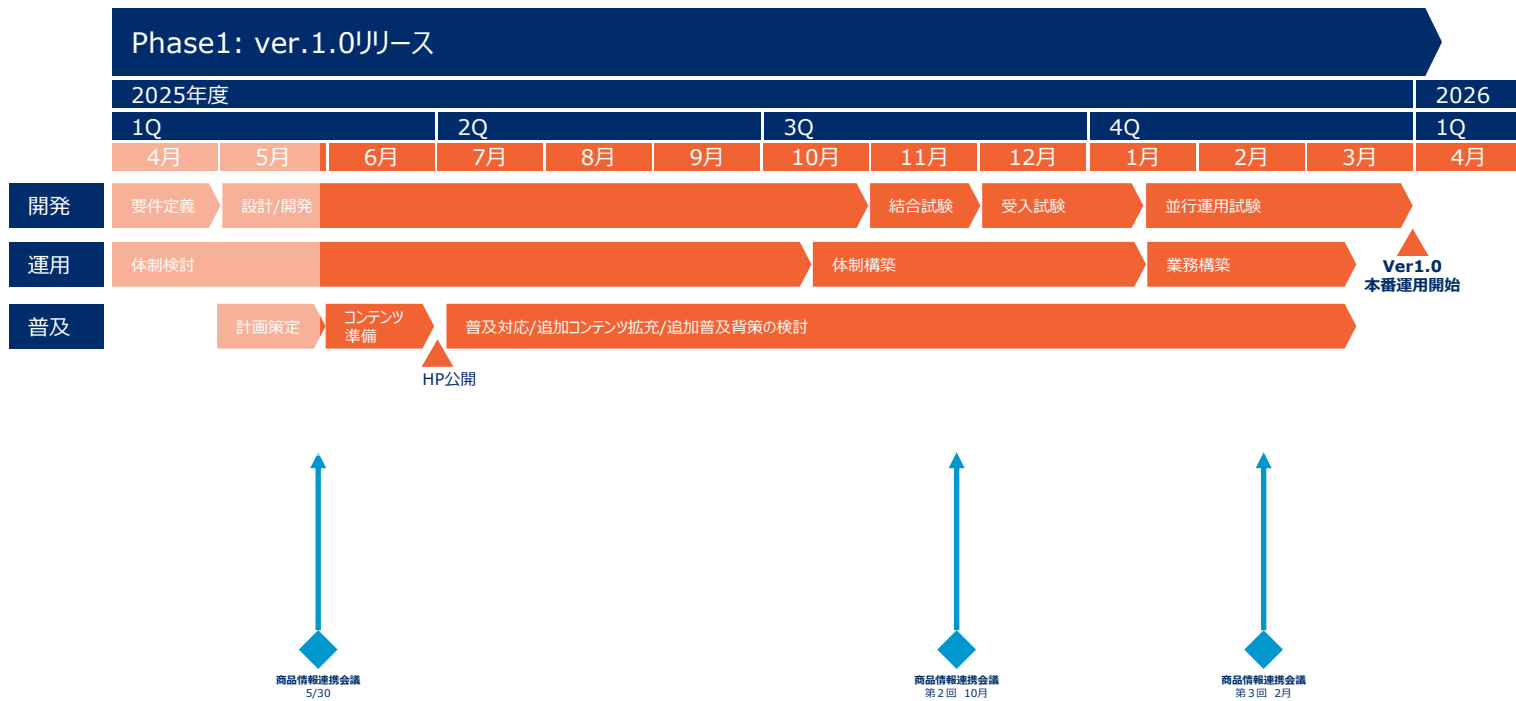
1D. GS1 Japan 産業横断レジストリーの概要

GS1 Japan 産業横断レジストリーは、利用者が問い合わせてきたGTIN (JANコード) に対して、各データベースに問い合わせ、基本項目 (56項目) を統一のフォーマットに変換し利用者に提供。また、各業界DBの業界特有項目は変換を実施せず、そのまま各業界DBのフォーマットで利用者に提供。



2. GS1 Japan 産業横断レジストリー ver1.0スケジュール

2. GS1 Japan 産業横断レジストリー ver1.0スケジュール



3. GS1 Japan 産業横断レジストリー商品情報

A. GS1 Japan 産業横断レジストリー 商品情報構造

B. ver1.0 基本項目 56項目

C. ver1.0 業界特有項目＜食品＞ ジャパン・インフォレックス 89項目

D. ver1.0 業界特有項目＜日用品＞ プラネット 131項目

3A. GS1 Japan 産業横断レジストリー 商品情報構造

参考大分類	参考小分類	参考小分類項目例
基本項目	単品	GTIN-13、商品名称、サイズ、内容量等
	物流	GTIN-14、集合包装（ボール、ケース）の人数・サイズ・重量等
拡張基本項目	棚割画像	2D商品画像（棚割画像）
	品質	原材料名、アレルギー物質、製造所/加工所、栄養成分等
	EC画像	高解像度画像、3D画像等
関係依存項目	取引	販促売価、見積価格、原単価、売単価、最低発注数量、発注可能日/最終発注日等
個別項目	詳細品質	（表示法推奨レベルより詳細な情報）
	その他	商品特徴、レシピ情報、MD分類 等

リリースバージョン・提供時期	GS1 Japan 産業横断レジストリー提供項目カテゴリ
ver1.0 (2026年4月提供開始)	基本項目 56項目
	業界特有項目(ジャパン・インフォレックス) 89項目
	業界特有項目(プラネット) 131項目
業界協議を通じて、順次検討	

3B. ver1.0基本項目 56項目

No	項目名
1	GTIN-13、GTIN-12、GTIN-8
2	商品名
3	商品名（カナ）
4	商品名（詳細）
5	ブランド名
6	JICFS分類
7	内容量
8	内容量単位コード
9	表示用規格
10	自社商品コード
11	品名
12	商品情報URL
13	商品コメント
14	総重量
15	総重量単位コード
16	希望小売価格
17	オープン価格
18	軽減標準判定区分
19	消費税区分
20	サイズ（幅）
21	サイズ（高さ）
22	サイズ（奥行き）
23	サイズ単位コード
24	原産国（地域）
25	出荷可能日
26	出荷終了日
27	GTIN使用終了日
28	商品名（短）
29	商品発売開始日
30	品質保証期間名区分
31	品質保証期間値
32	保存時温度帯区分
33	GTIN-14（ボール）
34	ボール入数
35	ボール重量

No	項目名
36	ボール重量単位コード
37	ボール容積（容量）
38	ボール容積（容量）単位コード
39	ボールサイズ-幅
40	ボールサイズ-高さ
41	ボールサイズ-奥行き
42	ボールサイズ単位コード
43	GTIN-14（ケース）
44	ケース入数
45	外箱品名
46	ケース重量
47	ケース重量単位コード
48	ケース容積（容量）
49	ケース容積（容量）単位コード
50	ケースサイズ-幅
51	ケースサイズ-高さ
52	ケースサイズ-奥行き
53	ケースサイズ単位コード
54	連携元種別【データ登録元】
55	登録日
56	更新日

※項目には必須項目と任意項目があります
※詳細は別紙参照

3C. ver1.0 業界特有項目

<食品> ジャパン・インフォレックス 89項目

No	項目名	No	項目名	No	項目名
1	メーカーコード	35	酸度	68	商品特徴（短）
2	メーカーコード区分	36	生産都道府県コード	69	原材料表示
3	伝票用商品名（カナ）	37	ワイン原産地	70	販売チャネル
4	カナ略称（POSレシート用品名）	38	ワイン分類	71	ユニット容量
5	ブランド名（カナ）	39	酒類味分類	72	ユニット単位コード
6	規格（カナ）	40	清酒麹米名	73	米トレーサビリティ対象区分
7	商品コード種別	41	清酒麹米歩合	74	伝達義務対象原材料名
8	ソースマーキングの有無	42	清酒掛米名	75	産地情報伝達方法
9	標準・短縮識別区分	43	清酒掛米歩合	76	米原料産地情報
10	単品・集合包装識別区分	44	清酒濃淡度区分	77	代表商品フラグ
11	旧小売価格	45	洋酒分類	78	ＩＴＦコード
12	新価格適用日	46	輸入者名	79	荷合せ数
13	削除日付	47	エキス分	80	ＩＴＦコード識別区分
14	新規登録日付	48	登録内容区分	81	荷姿入数
15	商品種別識別区分	49	調理方法有無区分	82	荷姿区分
16	P B / N B 分類コード	50	揚げる	83	S D Pコード
17	製造年月日・賞味期限表示方法	51	電子レンジ	84	単品商品コード（共通商品コード）
18	容積	52	フライパン	85	バック商品コード（共通商品コード）
19	内容物容器形態コード	53	コンベクションオープン	86	ケース商品コード（共通商品コード）
20	外装容器形態コード	54	湯煎	87	ボール包装区分
21	リターナブルサイン	55	蒸す	88	使用パレット種類
22	流通保管方法 温度（FROM）	56	煮る	89	J A N + 荷姿
23	流通保管方法 温度（TO）	57	オーブントースター		
24	業務／家庭用区分	58	自然解凍		
25	輸入国産区分	59	流水解凍		
26	原産国	60	冷蔵庫解凍		
27	酒類識別区分	61	希釈		
28	酒類分類	62	固形重量		
29	単品容量	63	配送ロット		
30	アルコール度数	64	外箱への賞味期限印刷		
31	製法品質表示コード	65	梱GTIN		
32	製法品質内訳コード	66	販売エリア		
33	色区分	67	商品コメント		
34	日本酒度				

※項目には必須項目と任意項目があります

3D. ver1.0 業界特有項目 <日用品> プラネット 131項目

No	項目名	No	項目名	No	項目名	No	項目名	No	項目名
1	共通取引先コード	29	カラー名	56	店頭販売単位フラグ	84	O T C医薬品・配置薬区分	112	メーカーパレット才数
2	半角商品名 (14)	30	容器素材区分	57	情報提供者コード (G L N)	85	局方品区分	113	商品コード区分(内訳)
3	セット区分	31	取り扱い注意 (危険物等) 区分	58	医療機器クラス	86	毒物・劇物区分	114	共通商品コード(内訳)
4	パッケージの種類	32	フック孔サイズ	59	特定保守管理	87	農薬・動物薬区分	115	商品名
5	贈答区分	33	フック穴位置 X	60	全角商品名 (5 0)	88	剤形区分	116	バラ数量
6	受注開始日	34	フック穴位置 Y	61	全角内容量	89	希望小売価格 (税込)	117	バラ数量 (景品)
7	P B 発売元情報	35	ソース D B 区分	62	全角内容量単位	90	医薬品統一商品コード	118	正式商品カナ (全角カナ)
8	標準卸単価	36	アルコール度数	63	全角入数	91	医療機器承認番号	119	商品本体サイズ
9	製販単価	37	取扱最高温度 (℃)	64	全角入数単位	92	生活者公開フラグ	120	材質・素材
10	取引制度区分	38	取扱最低温度 (℃)	65	半角内容量単位	93	ブランド販売名	121	表示成分
11	最低発注 (数量)	39	原材料表示(食品)	66	半角入数単位コード	94	ブランド販売名 (カナ)	122	成分説明
12	最低発注 (数量単位)	40	主たる原材料の原産国	67	半角入数単位	95	包装規格名称	123	使用方法
13	半角ブランド名	41	栄養成分強調表示	68	酒類分類 1	96	小児用区分	124	使用上の注意
14	単品内共通商品コード	42	栄養成分表示単位	69	酒類分類 2	97	登録事由	125	裏面その他
15	単品内入数	43	熱量	70	製法品質	98	原材料表示 (ペットフード)	126	ご注意 (必ずお読みください)
16	半角商品特徴 (110)	44	脂質	71	日本酒度	99	目的食区分	127	検索用キーワード1
17	全角商品名 (25)	45	炭水化物	72	酸度	100	販売業者届出区分	128	検索用キーワード2
18	棚割商品名	46	タンパク質	73	ワインカラー	101	飼料の種類	129	検索用キーワード3
19	業界カテゴリ分類コード	47	ナトリウム	74	エキス分	102	食塩相当量	130	生活者公開希望日
20	セールスポイント	48	遺伝子組換え区分	75	糖質	103	商品物流区分	131	公開日
21	商品特徴 (50)	49	半角メーカー名 (5)	76	食物繊維	104	商品物流区分	※項目には必須項目と任意項目があります	
22	商品特徴 (25)	50	全角メーカー名 (5)	77	製造元・都道府県コード	105	I T F 開始年月日		
23	半角内容量・入数	51	カテゴリ短縮名	78	商品階層	106	I T F 開始年月日		
24	全角サブブランド名	52	不定買フラグ	79	J A N メーカーコード	107	I T F 終了年月日		
25	企画品 / P B 商品区分	53	内容量 (ユニットプライス計算用)	80	承認販売名	108	I T F 終了年月日		
26	限定手段	54	ユニット容量	81	承認販売名カナ	109	荷合わせ数		
27	旧共通商品コード	55	ユニット単位コード	82	商品区分	110	パレット積付けパターン		
28	セルフメディケーション税制対象区分	56	店頭販売単位フラグ	83	O T C 医薬品分類	111	使用パレット種類		

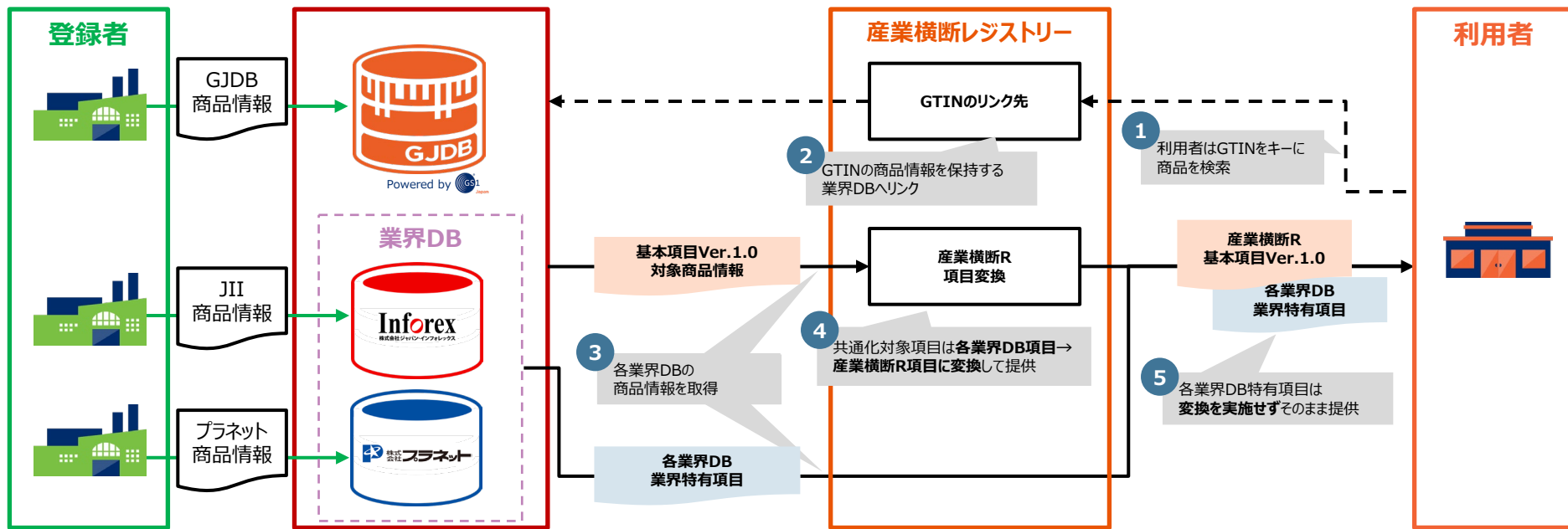
4. GS1 Japan 産業横断レジストリー小売向けAPI連携概要

A. GS1 Japan 産業横断レジストリー API連携概要図

B. GS1 Japan 産業横断レジストリー 小売向けAPI連携概要

4A. GS1 Japan 産業横断レジストリーAPI連携概要図

産業横断レジストリーの商品情報基本項目(56項目)は統一のフォーマットに変換し利用者に提供。
各業界DBの業界特有項目は変換を実施せず、そのまま各業界DBのフォーマットで利用者に提供。



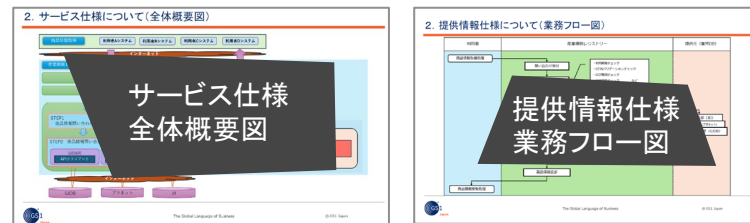
4B. GS1 Japan 産業横断レジストリー小売向けAPI連携概要

GS1 Japan 産業横断レジストリーでは Web APIにより商品情報を利用者に提供

GS1 Japan、ジャパン・インフォレックス、プラネットが保有するブランドオーナーが直接登録したGTIN単位の商品情報を、産業横断レジストリーで優先度判定およびトランスレートの処理を行った情報を利用者に提供

小売向けAPI仕様書を
2025年7月より提供開始予定

GS1 Japan 産業横断レジストリー 利用者向けシステム要件 【例】



GS1 Japan 産業横断レジストリー ver1.0 利用者向け API仕様書 【例】



5. GS1 Japan 産業横断レジストリーver2.0に向けて

5. GS1 Japan 産業横断レジストリーver2.0に向けて

